

# 5年2組 外国語活動学習指導案

授業日 平成26年7月15日(火) 2校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

会場 5年1組教室

## 1 単元名 「好きなもの」

“Hi, Friends Lesson 4 I like apples. Lesson 5 What do you like?”

## 2 本単元の価値

本単元は、主に学習指導要領「外国語活動」の以下の指導内容に基づくものである。

### 2 内容

1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。

(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。

(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

本単元は、likeにかかわる英語表現や語彙を使って自分の好きなものを伝えたり、相手の好きなものを聞いたりする学習である。前単元で子どもは、ALTとの自己紹介活動を経験している。ALTの名前、年齢、出身、趣味や特技、食べ物の好き嫌いなどを知り、ALTに対して少しずつ興味をもち始めている。

このような子どもたちに、英語を使ってALTとコミュニケーションを図ることで、好みを詳しく知り、イメージと重なったり、ずれたりすることを体験させ、コミュニケーションを図る楽しさを感じることを目的とする。また、なんとなく描いているALTに対するイメージも実際に話したり、聞いたりしないと分からないことがたくさんあるという、コミュニケーションを図る大切さにも気付かせる。これは、研究計画の位置付けの目指す子どもの姿の具体である外国語を使って相手の知らなかったが分かる姿である。

相手の「好きなもの」を知るという活動は、コミュニケーションにおける初期のやり取りとして適当である。また、身近に起こり得る課題でもあり、子どもにとって興味をもちやすい。何故なら、互いの趣味や特技、食べ物などは、共通の話題となり得るものであり、共感や驚きも生じやすいからである。本単元では、自己紹介の後の最初の単元として設定し、互いを知る入口の活動として位置付けている。

## 3 本単元で学びをつなぐ力を高めた姿と学びをつなぐ力

本単元で学びをつなぐ力を高めた姿とは、**プレゼントの中身を考えるためにlikeの英語表現を使ってコミュニケーションを図り、相手の好きなものを知る姿**である。授業における具体的な子どもの姿としては、ALTへのプレゼントを考えるためにコミュニケーションを図る中で、likeにかかわるの様々な英語表現や語彙を使いながら、ALTの好きなものを知る姿である。

子どもたちは、普段のかかわりの中で、ALTの好きなものをいくつか知っている。このような子どもに教師が「今度、ALTにプレゼントをしようと思っている。何を贈ればよいか一緒に考えてほしい」と問い掛ける。すると子どもは、既存のALTが好きなものや普段のイメージとALTが喜ぶプレゼントとを**関係付けるすべ**を用いて「きっとこんなものが好きだろう」と予想を立てる。しかし、その予想は本当にそうなのか分からない状態である。そして、ALTに聞いて確かめてみようという気持ちが生まれる。このような姿を子どもが問いをもった姿となる。

問いをもった子どもに教師は、「ALTに聞くために何と聞けばよいか」と問い掛ける。すると、子どもはlikeを使った英語表現や語彙が知りたくなる。そこで、likeの英語表現や語彙を提示し、慣れ親しませ、ALTに聞くための英語表現や語彙を使えるようにする。

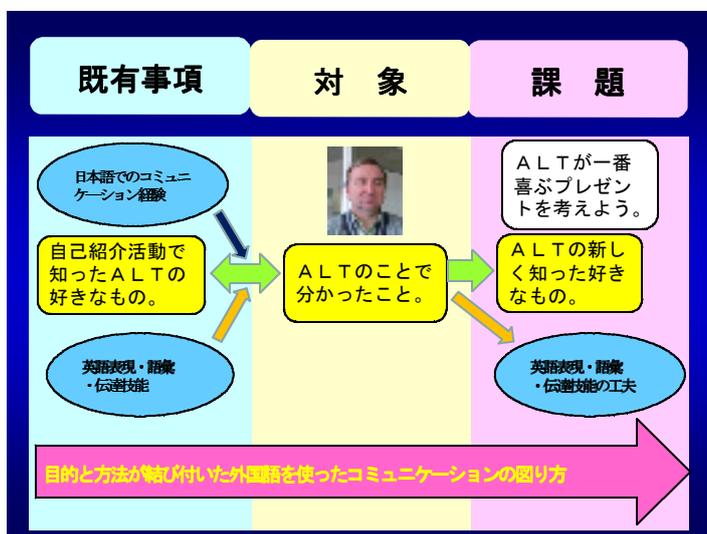
問いの解決に必要な英語表現や語彙を知った子どもに、実際にALTとコミュニケー

ションを図らせる。すると子どもは、likeを使った英語表現とALTが喜ぶプレゼントを**関係付ける**すべを用いて、ALTの好きなものを知るようになる。しかし、好きなものがたくさん分かると、1つに絞れないというプレゼント選びの困難点に気付く。このような姿になったとき、子どもは新たな問いをもった姿とし、次の働き掛けをする。

よりよいプレゼントにするために困難点を学級全体で共有させる。そして、解決策を探らせる。そうすることで子どもは、新たな問いを共有することになり、次のコミュニケーションにどのようなことが必要か考えるようになる。そこで、「どうしたら、ALTのより好きなものが分かり、喜んでくれるプレゼントを選べるのか」と問う。すると子どもは、既有の英語表現、語彙、伝達技能、日本語のコミュニケーション経験からALTがより好きなものを知るための解決策を見出す。教師は、それを整理し、視点を明確にし、子どもから要望があれば、likeをもとにした新しい英語表現を提示し、慣れ親しませる。そうすることで、子どもは解決に必要な表現方法をもとに作戦を考えるようになる。このような姿を見通しをもった姿とし、次の働き掛けをする。

見通しをもった子どもにALTとのコミュニケーション場面を再び設定する。すると、ALTに聞く視点を明確にした子どもは、likeをもとにしたコミュニケーションの図り方と今までのコミュニケーションから分かったALTの好きなものとを**関係付ける**すべを用いて因果の関係でつなぎ、ALTのより好きなものを知ることができ、プレゼントを選ぶことができるようになる。

最後に、本単元を通してlikeの英語表現を使ってどのようなコミュニケーションを図り、どんなことが分かったかを記述させる。そして、分かったことをもとにプレゼントの内容を考えさせる。そうすることで、子どもはALTの好きなものを以前より知り、ALTに対してさらに興味をもつようになる。このような姿が、本単元で目指す**likeの英語表現を使ってコミュニケーションを図り、相手の好きなものを知る姿**である。



#### 4 指導計画（全4時間）

単元カード参照

#### 5 指導の構想

本単元は、likeの英語表現に慣れ親しむ内容である。しかし、単純にlikeの英語表現に慣れ親しみ、それを使って尋ねたり、答えたりするだけでは、likeの英語表現を使って相手の知らなかったことを知るコミュニケーションにはならない。何故なら、本当に知らないことを知りたいという問いが生まれていないからである。そこで、本実践ではALTが好きなものをプレゼントするという設定を仕組み、そのためにlikeの英語表現を使って好きなものを探る活動をさせる。そうすることで、子どもはlikeの英語表現を使った受け答えをする必要性を感じ、本当に相手の「好きなもの」を知ろうとするコミュニケーションが成り立つようにする。

##### 働き掛け1

子どもがlikeを使ってコミュニケーションを図らなければ、解決できない課題を提示する。

子どもに英語で「好きなもの」を尋ねたり、答えたりする問いをもたせるための働き掛けである。

ALTは普段の会話の中で時々好きなものなどを話している。そのため、子どもはALTの好きなものをいくつか知っている。このような状態の子どもたちに、教師が「今度ALTに贈り物をしたいと思っている。何がいいのか一緒に考えてほしい」と伝える。

また、その際プレゼントを入れる袋と金額（2000～3000円程度）を提示し、子どもがプレゼントの中身を具体的に考えられるようにする。すると子どもは、既存のALTが好きなのや普段のイメージとALTが喜ぶプレゼントとを**関係付けるすべ**を用いて予想を立てる。しかし、その予想は子どもによってバラバラであり、またそれが本当にALTが喜ぶものなのか分からない状態になる。そして、ALTに聞いてみようという姿になったとき、子どもが問いをもったととらえ、次の働き掛けをする。

#### **働き掛け2**

**好きなものを尋ねるのに必要な英語表現や語彙に慣れ親しませる。**

問いを解決するために必要な英語表現・語彙に慣れ親しませる働き掛けである。

まず、ALTに何と聞けばよいかを問う。すると子どもは、日本語で「好きなものは何か」、「〇〇は好きか」といった聞き方を考え、その英語表現や語彙を知りたくなる気持ちが生まれる。そこで、教師はlikeの英語表現や語彙を提示し、それらを使わせる場面を設定しながら、慣れ親しませる。そうすることで、子どもはALTに聞くための英語表現や語彙を使えるようになる。

#### **働き掛け3**

**実際にALTとコミュニケーションを図らせることで困難点に気付かせる。**

実際にコミュニケーションを図らせる中で、新たな問いを生まれさせるための働き掛けである。

子どもは、働き掛け2で問いの解決に必要な英語表現や語彙を知っている。そこで、班で練習したり、作戦を立てさせたりしながら実際にALTとコミュニケーションを図らせ、ALTの好きなものを探らせる。すると子どもは、likeを使った英語表現とALTが喜ぶプレゼントとを**関係づけるすべ**を用いることでALTの好きなものを知るようになる。しかし、ALTの好きなものは、複数あり、単純にALTの好きなものを確認するだけでは、プレゼントが選べない状況になる。そこで、教師はどうすればALTが喜ぶプレゼントが選べるのかを問い、課題解決のために現在直面している困難点に気付かせる。

#### **働き掛け4**

**よりよいプレゼントを選ぶための困難点を共有させ、その解決策を考えさせることで、プレゼント選びの見通しをもたせる。**

困難点を共有させ、プレゼント選びの見通しをもたせるための働き掛けである。

ALTとのコミュニケーションで予想した好きなもの確かめることのできた子どもであるが、好きなものが複数あるため、プレゼントを選びきれないという新たな問いをもっている。そこで、ALTにどのように聞けば、ALTのより好きなものが分かり、喜ぶプレゼントを選べるかを問う。すると子どもは、既存の英語表現、語彙や伝達技能、日本語でのコミュニケーション経験からALTがより好きなものを知るための解決策を見出す。教師は、それらを整理し、視点を明確にする。また、解決をするために新たな英語表現が必要となった場合、必要に応じて慣れ親しませる。そうすることで、子どもは解決に必要な新たなコミュニケーションの図り方をもとに作戦を考えるようになる。このような姿を見通しをもった姿とし、次の働き掛けをする。

#### **働き掛け5**

**2回目のコミュニケーションを図らせ、課題の解決に向かわせる。**

課題の解決に向かわせるための働き掛けである。

子どもは、働き掛け4でALTのより好きなものを聞く見通しをもっている。そこで、新たな問い（ALTのより好きなものを知り、プレゼントを選ぶためにはコミュニケーションの図り方を考える必要がある）の解決に向けて再びALTとコミュニケーションを図らせる。そうすることで、子どもはlikeをもとにしたコミュニケーションの図り方と今までのコミュニケーションから分かったALTの好きなもの**とを関係付けるすべ**を用いて因果の関係でつなぎ、ALTのより好きなものを知ることができる。

最後に、今回の授業を通して、likeを使ってどのようなコミュニケーションを図り、

どんなことが分かったのかを記述させ、プレゼントの内容を考えさせる。そうすることで子どもは、本時のコミュニケーション活動からALTの好みを以前より知ったことを認識する。これが、本單元における**目指す姿**である。

## 6 本時の構想

### (1) ねらい 3 / 4 時間

関係付けるすべを用いて、likeをもとにしたコミュニケーションの図り方とALTの好きなものをつなぐことで、ALTのより好きなものを知り、ALTに贈るプレゼントを選ぶことができる。

### (2) 主張（展開）3 Q（45分）

#### このような子どもに（C0）

- スティーブ先生の好きなものを知っている。  
（すし、黄色、バイク、猫、コーヒー、日本茶、甚平等）
- スティーブ先生のとて好きなものはあまり分からない。
- プレゼントを選ぶための課題をもっている子と、そうでない子がいる。  
（課題をもっている子の内容）
  - ・ どっちが好きか分からない。
  - ・ どれが一番好きか分からない。
  - ・ 理由を知りたい。
  - ・ 条件（価格や大きさ）に合っているのか分からない。
- Do you like ~ ? / Yes, I do. No, I don't.  
What ~ do you like? / I like ~. の英語表現を知っている。
- プレゼントを1つに選ぶ見通しがもてていない。
- 知っている外国語を使った伝達技能。
  - ・ 類推して聞く、ジェスチャー、聞き返し、困ったときの外国語表現（Please, once more. Speak slowly, please. など）

#### このように働き掛けると【働き掛け4】

- よりよいプレゼントを選ぶための困難点を共有させ、その解決策を考えさせることで、プレゼント選びの見通しをもたせる。  
発問1 「前回、スティーブ先生へのプレゼントを考えてもらうために、好きなものを聞いてもらいました。プレゼントを選ぶにあたり、困っていることがあったようですね。どんなことが困っていますか」  
※ 困難点があまりでない場合は、【働き掛け1】で提示した課題「スティーブ先生の一番喜んでくれそうなものをプレゼントする」を再度想起させる。  
※ 出されたものは、教師が分類をして板書する。  
発問2 「今日のスティーブ先生にどういうことを聞けば、プレゼントを選べそうですか」  
※ 出された意見に正対して、それが妥当なものか問い返す。  
※ 新しい英語表現・語彙が必要ならば、提示し慣れ親しませる。  
予想される英語表現や語彙
  - ・ Which do you like?
  - ・ Do you like ~ or ~ ?
  - ・ Best, Better, No1, Why など発問3 「これで、プレゼントは選べそうですか」

#### このようになり（C4）

- 前時に表出された困難点を学級全体で共有する。
  - ・ 予想したものを全て聞くことが難しくてまだ選べない。
  - ・ 好きなものは聞けたけど、絞ることができない。
  - ・ 一番好きなものがどれか分からないから選べない。
  - ・ 理由や必要度が分からないから選べない。
  - ・ 会話で戸惑って思うように聞けない。
- 困難点の解決策を考える。

- ・どっちだから、Which?やor?を使うといいのかな。
- ・ステーブ先生は、Bestって言葉も使っていたよ。それ使うといいんじゃない。
- ・Do you like～?で絞られたものをさらにWhat～do you like?で絞ったらいいね。
- ・ランキングとか聞いてみたら?いくつか好きなものを言って、No.1 like?とかね。
- ・事前に練習をしてからにすると会話が上手くいく。

※見通しをもった姿=発問3で、挙手を求め、手が挙げた人数で判断。

### このように働き掛けると【働き掛け5】

○2回目のコミュニケーションを図らせ、課題の解決に向かわせる。

指示「それでは、班で作戦を立てて、準備のできた班からステーブ先生と会話をしてみましょう。今回は、みなさんからステーブ先生のところへ行って会話をしてください。回数は、何回でも構いません。ですが、必ず各班1回は行ってください」

※会話の条件は、あらかじめ提示しておき、コミュニケーション活動を始める前に確認させる。

#### 会話の条件

- ・1人1質問以上。1回の会話で全員回らなければ、2回目以降質問してない人が質問をしていく。また、ステーブ先生の答えを受けての追加質問に対しては、誰がしてよい。
- ・会話時間は、最大で約3分。
- ・始めと終わりのあいさつは必ず入れる。
- ・ステーブ先生の質問には必ず答える。

### このようになり(C5)

○班で作戦を考える。

- ・まず、What do you like?で聞いてから、Do you like～?でいこう。
- ・Whichかorで絞っていこう。
- ・プレゼントできなそうなものと言ったら、2番目とかも聞いてみよう。No.1?とか使ってさ。
- ・Do you like～? Yes, I do. だったら、すかさずWhyで聞いてみる。

○ステーブ先生と会話をする。C=child A=ALT

C: Hello! Do you like Japanese tea or coffee or Japanese liquor, the best?

A: I like coffee the best.

C: OK! Thank you.

C: Hello! What sports do you like?

A: I like Ice hockey and baseball.

C: Which do you like (hockey and (or) baseball)?

A: I like baseball.

C: Hello! Do you like clothes?

A: Yes, I have many clothes.

C: What clothes do you like?

A: I like Jinbei.

C: Thank you!

C1: Hello! What foods do you like?

A: I like sushi and meats, noodle.

C2: What food do you like? No.1?

A: I like sushi in the best.

C: Thank you.

※       の姿の条件(下記の・のいずれかが該当している)

- ・既習のlikeを使った英語表現(Do you like～?やWhat(～)do you like?)を

繰り返したり，組み合わせたりしている。

- ・ likeを使った新しい英語表現（Whichやor）を使っている。
- ・ likeを使った英語表現に伝達技能（ジェスチャーや聞き返しなど）を使ったり，知っている英語（No. 1やbestなど）を使ったりしている。

### このように働き掛けると【検証のための働き掛け】

○ALTとのコミュニケーションを図る中で，どのように工夫して聞いたら，どんなことが分かったかを記述させる。

指示「今回は，プレゼントを選ぶためにlikeの表現を使って，ステーブ先生とたくさんのお話をしました。授業を終えてみて，likeの表現を使ってどのように聞いて，どんなことが分かったのか，そしてどんなプレゼントがいいと思うのかを記述しましょう。」

※記述用のプリントを各個人に配付。

### このようになり（Cn）

○めざす姿になる。

- ・ What do you like?と聞いて，3つ言われたので，その3つを指しながら，Do you like ～ ～ ～ Best?と聞いた。ステーブ先生は，すしがとても好きということが分かった。でも，本物はちょっと難しいので，すし券なんてのはどうだろう。
- ・ Do you like a cat?と聞いたら，Yes, I do.と答えて，猫を3匹も飼っていると嬉しそうに話していた。だから，What animals do you like?と聞いたら，Cat the best!と答えた。ステーブ先生は，猫が本当に好きだということが分かった。だから，プレゼントは猫が喜ぶグッズなんてどうだろう。
- ・ Do you like sports?と聞いてYesと答えたので，What sports do you like?と聞いたらbaseball.と答えて，好きなチームを教えてください。ステーブ先生は，とても野球が好きだということが分かった。だから，好きなチームの帽子なんてどうだろう。

## 7 検証

### (1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより，想定した「考えるすべ」を用いて，課題解決に必要な情報と既存事項とをつなぐことができたか。
- ② 構想した働き掛けにより，学びをつなぐ力を高めた姿になったか。

### (2) 検証の方法

- ① 働き掛け5により，          のように中心となるlikeの英語表現をもとにしたコミュニケーションの図り方とALTの好きなものをつないで外国語を使ったコミュニケーションが図れたかを子どもの姿で検証する。

※likeの英語表現をもとにしたコミュニケーションの図り方とは，

ア) Do you like ～?またはWhat (～) do you like?を繰り返し聞いたり，組み合わせたりして，特に好きなものは何なのか引き出そうとしている。

イ) likeを使った新しい表現（Whichやorなど）を使って，特に好きなものを引き出そうとしている。

ウ) 知っている英語やジェスチャーを加えて，特に好きなものを引き出そうとしている。

- ② 検証のための働き掛けにより，          のようにlikeの英語表現をもとにしたコミュニケーションの図り方で，          のようにALTの好きなものが分かった記述をしているかで検証をする。

※記述における英語表記の部分は日本語でも構わない。

\*①と②の両方をもって表れありと評価する。